

愛知大学法学部

法經論集

第174号

論 説

- 生命保険において自殺免責期間を定める約款規定の効力——再論
 広瀬裕樹 1
- 中国特許法における余事記載救済原則の出現とその帰趨
 ——認識容易な法における柱状節理現象モデル——
 浅井正 47

研究ノート

- 「バツツイ家の陰謀」関連年表
 ——ルネサンス・フィレンツェ：一大権力闘争の背景，展開，帰結——
 須藤祐孝 63

翻 訳

- 平等をめざす、いわゆるバブーフの陰謀（六）
 フィリップ・ブオナローティ著 260
 田中正人〔訳〕
- ヨルク・パウル・ミュラー『スイス基本権原論』（五）
 (Jörg Paul Müller: Elemente einer schweizerischen Grundrechtstheorie. Bern 1982.)
 小林武 186

資 料

- 裁判手続における「合議」保障の意義
 ——憲法学の観点からの鑑定意見書——
 小林武 87

講 演

- 三つのリアリズム
 ——法科大学院教育における——
 米倉明修 107
 榎本

法学会記事

2007年7月

愛知大学法学会